



宮城県志津川高等学校

自然科学部

宮城県本吉郡南三陸町志津川字廻館92-2

「松原海岸の生物調査」



Action

松原海岸には東日本大震災に伴う津波で干潟環境が形成され、住民の意向で守られた特別な干潟がある。2017年から調査が始まり、面積が狭いにも関わらず多様性が高い干潟と同等の種数が記録され、レッドリスト掲載種の割合は志津川湾を含む南三陸海岸の中で最も高い値を示している。ところが、2019年、導流堤工事によって、干潟エリアの約3割が作業道として埋め立てられ、干潟エリアと川の水の出入りがなくなった。しかし、これまでの調査が研究者や復旧工事に関わる事業者の協力へと繋がり、工事の計画が見直され3本の通水管が導流堤に設置された。また、旧防波堤と導流堤の間に隙間を作り、水が出入りしやすい環境に改善され、さらに、干潟部分を埋め立てていた土砂と震災がれきも撤去されることになり、干潟エリアが大きく広がった。そこで、継続した調査から導流堤工事の終了に伴って改善された干潟において工事の影響を評価し、地域の環境保全につなげている。